

外国語学部・教育研究上の目的及び3つのポリシー**教育研究上の目的**

外国語学部は言語に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有し、専攻する言語およびその言語が使用される地域の文化、社会、歴史等の教育・研究を通じて、国際的な幅広い知識と教養を身につけた外国語のスペシャリストを育成することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

外国語学部は、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生に、卒業の認定を行い、学士（中国語学、英語学、日本語学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

- (1) 専攻言語で議論を行うことができる程度の語学力を修得している。
- (2) 専攻する地域の文化、社会、歴史等に関する知識を基礎にして、国際社会で貢献できるだけの幅広い教養と国際的知識を修得している。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

- (1) 語学力および IT スキルを使って、必要な情報を収集し、分析し、判断する能力を修得している。
- (2) 問題を適切に設定し、他者の言葉に耳を傾け、自らの考えをまとめ、他者に向けて表現する能力を修得している。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

- (1) 能動的な学修姿勢を身につけ、語学の知を実践の力へと高めることができる。
- (2) 語学の知に基づいた実践の力によって、地域社会や国際社会が直面する課題に対応することができる。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

- (1) 本学の建学の精神（漢学の振興と東西文化の融合）に基づいて、異文化を知り、自文化を相対化することができる。
- (2) 本学の理念（多文化共生）に基づいて、文化の多様性を知り、多様性の中から新しい価値を創造することができる。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

外国語学部は、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

- (1) 外国語、IT スキル、資料収集方法、表現方法などの基本の修得を目指す基礎教育科目を設置する。
- (2) 広範な知識の修得と問題意識の養成を目指す全学共通科目を設置する。
- (3) 各学科の教育目標を達成するための専門教育科目を設置する。
- (4) 初年次において、大学の学び方を身につけるための導入教育科目を設置する。

2. 教育方法

- (1) 語学教育においてネイティブスピーカーによる指導を豊富に導入する。

- (2) 双方向授業を展開するために少人数の演習を数多く導入する。
- (3) 異文化理解を深めるために、留学、現地研修、留学生と日本人学生の共修などの機会を豊富に設ける。
- (4) 学生が自らの関心に応じて学べるように、コースや系列別の教育課程を設ける。

3. 評価方法

- (1) 学位授与方針（DP）に掲げられた各種能力を、卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、卒業論文、取得資格、その他のアセスメントの結果に基づいて、多角的かつ総合的に評価する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部は、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）に基づき、次のような要件を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

1. 知識・技能

- (1) 高等学校の教育課程を幅広く修得し、入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- (2) 外国語を学ぶための基礎的な学習スキルを身につけている。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) さまざまな場面において、何が問題であるかを理解し、それについて自分の考えをまとめることができる。
- (2) 他者の意見に耳を傾け、自分の意見を表現することができる。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) 外国語修得と異文化理解に強い関心をもっている。
- (2) 修得した語学力や異文化体験で得た知見などを社会で活かしたいという目的意識をもっている。